

b) 海藻草類

令和3年度の海藻草類の調査結果の概要は表 3.2.158 に、分布状況は表 3.2.159 及び図 3.2.65 に示すとおりである。

リーフ内の干出礁原において、海草藻場のほか海草類と海藻類の混生藻場がモザイク状に分布していた。これは底質が関係しており、砂地であれば海草藻場(アマモ類)、岩礁であれば海藻藻場(ホンダワラ類)、砂と岩礁が入り交じっている場所では混生藻場が分布していると考えられる。

表 3.2.158 海藻草類定点調査結果概要(種類数)

調査時期 項目	令和3年	
	夏季	冬季
出現種類数	99 (16 ~ 43)	82 (2 ~ 35)
生存被度	<1% ~ 70%	20% ~ 65%
分類群ごとの出現 種類数	藍色植物門	2
	紅色植物門	41
	不等毛植物門	15
	緑色植物門	31
	種子植物門	9
主な出現種	リュウキュウスカモ サンゴモ目(無節サンゴモ類) ヘニアマモ マツバウミシグサ キツネノ	リュウキュウスカモ サンゴモ目(無節サンゴモ類)

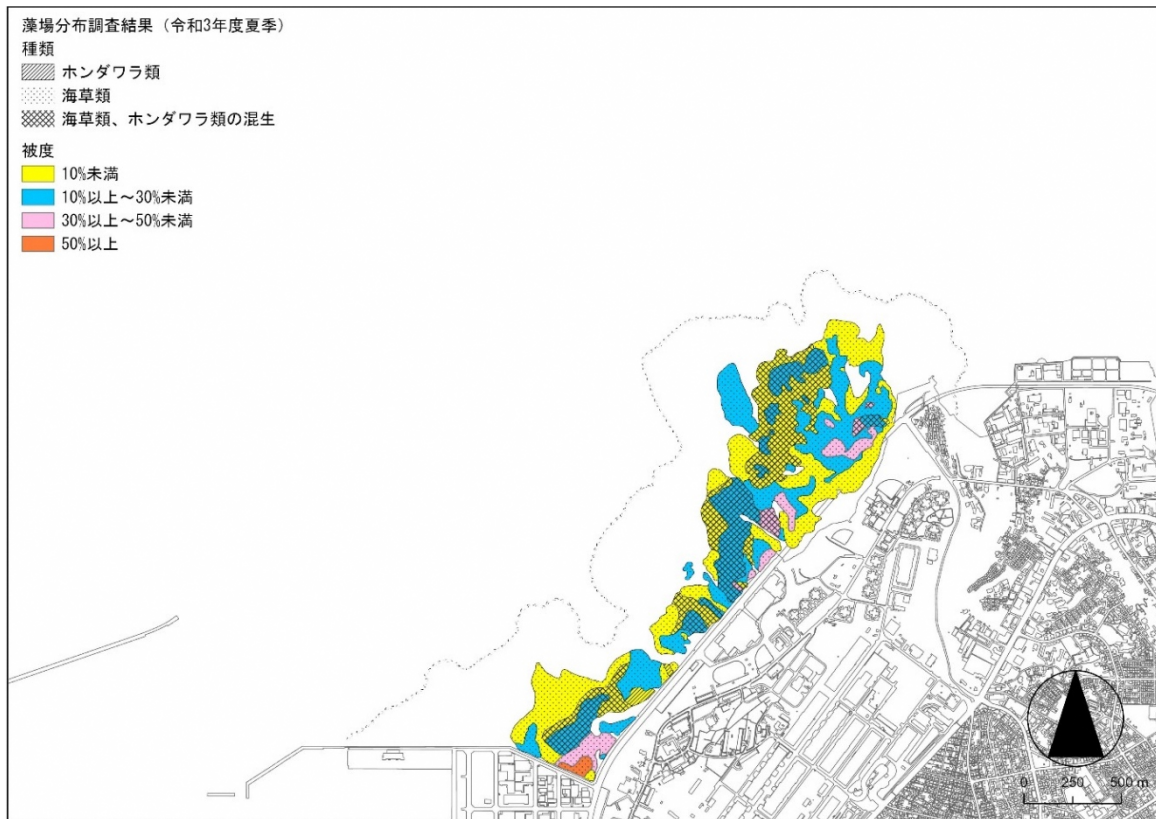
注：1. 各季の出現種類数欄の()内は地点ごとの出現種数の範囲を示す。
2. 各季の主な出現種は、被度5%以上確認された種を示す。

表 3.2.159 海藻草類構成種の被度区分別の分布面積

単位：ha

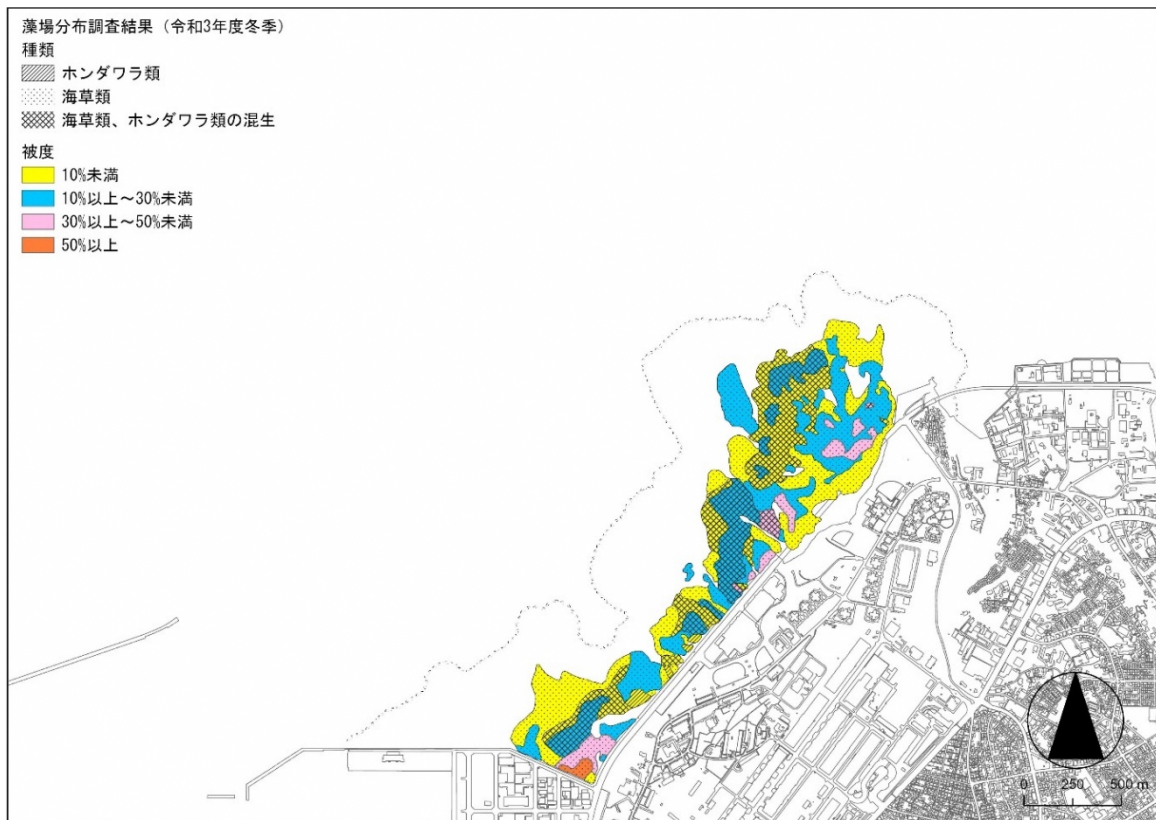
藻場構成種の被度区分		夏季	冬季
海草藻場 (アマモ類)	被度10%未満	35.8	35.8
	被度10%以上30%未満	30.2	30.9
	被度30%以上50%未満	6.5	6.8
	被度50%以上	1.0	1.0
	小計	73.5	74.5
海藻藻場 (ホンダワラ類)	被度10%未満	1.0	1.8
	被度10%以上30%未満	-	-
	被度30%以上50%未満	-	-
	被度50%以上	-	-
	小計	1.0	1.8
海草・海藻の 混成藻場	被度10%未満	21.9	21.9
	被度10%以上30%未満	18.5	17.8
	被度30%以上50%未満	1.7	1.3
	被度50%以上	-	-
	小計	42.1	41.0
合計		116.6	117.3

注：小数点2桁以下を四捨五入



出典：地図は国土地理院数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）

図 3.2.67(1) 藻場分布状況（令和3年度夏季）



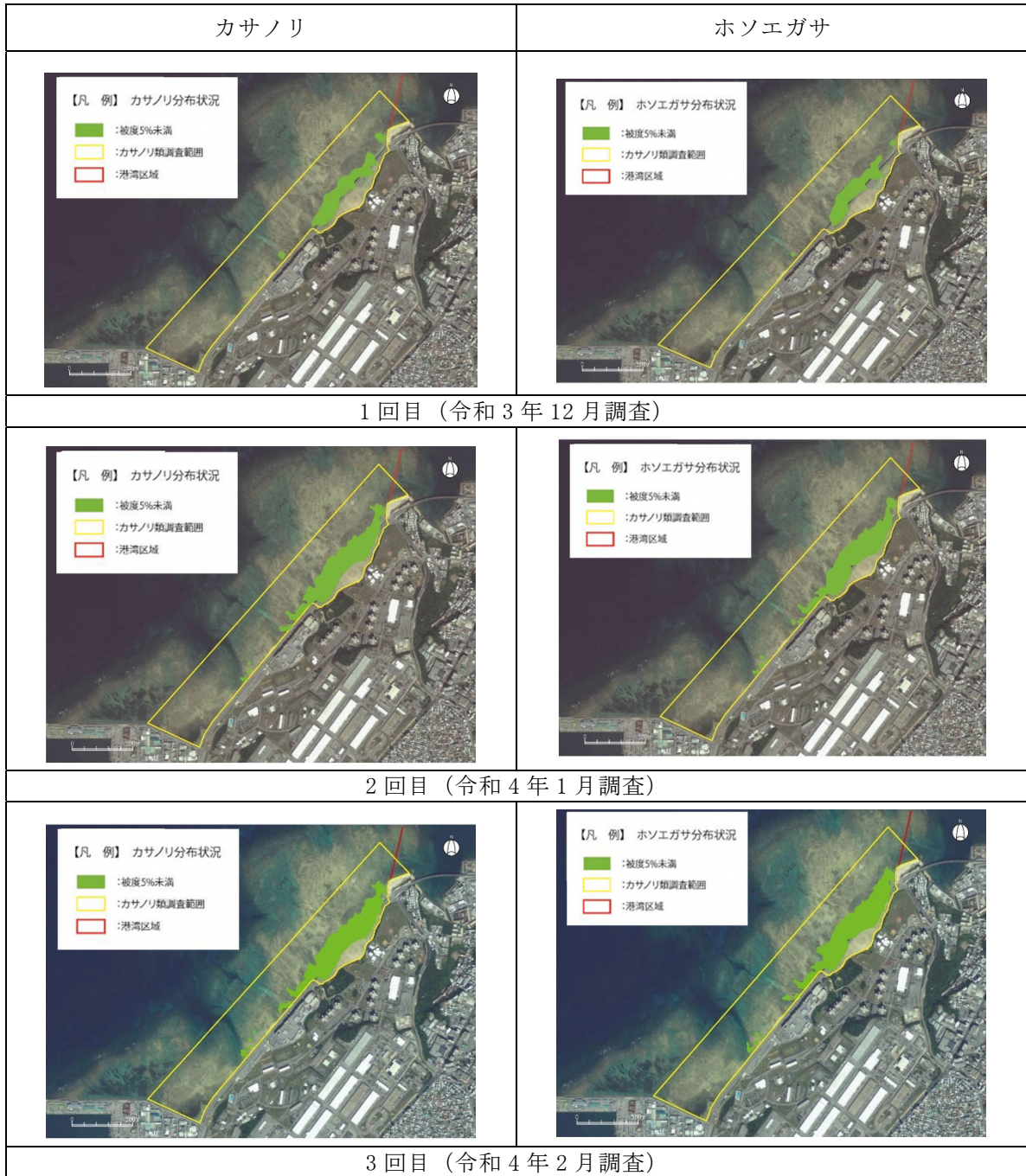
出典：地図は国土地理院数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）

図 3.2.67(2) 藻場分布状況（令和3年度冬季）

c) カサノリ類

カサノリ類の分布状況および定点位置図は図 3.2.68 に示すとおりである。

令和3年12月の調査では、カサノリ類は主に浦添ふ頭地区の橋梁部付近で確認された。1・2月調査時では12月調査時に比べて分布域が橋梁南端部よりも南側に拡大した。カサノリ及びホソエガサの分布範囲は概ね重複しており、どちらも被度は5%未満であった。



撮影：令和2年11月（令和3年2月作成、那覇港湾・空港整備事務所）

図 3.2.68 カサノリ及びホソエガサの分布状況

(d) 重要な種の出現状況

平成25年度に確認された重要な種は表 3.2.160 に、令和3年度に確認された重要な種は表 3.2.161 に示すとおりである。

表 3.2.160 重要な種一覧（海藻草類、平成25年度）

No.	門	綱	目	科	種名	環境省RL 2018	沖縄県RDB 2017	平成25年度				
								冬季	春季	夏季	秋季	
1	紅色植物	紅藻	ウミゾウメン	カサマツ	ハイコナハダ	NT	NT		○		○	
2				カクハラ	シユスフサリ		NT	○	○			
3				コナハダ	ハニモスク		VU		○			
4					ウミゾウメン	ヌルハダ	DD	VU		○	○	
5				スキノリ	リュウモンソウ	ユツキヒビロウト		DD	○	○	○	
6					ムカデノリ	フイリクサ	DD	NT	○	○	○	
7					ミリン	カタメキリンサイ	DD	NT	○	○	○	
8				オコノリ	オコノリ	リュウキウオコノリ	NT	NT		○	○	
9				イキス	イキス	ハニコウシ	DD	VU	○	○	○	
10					コノハリ	カテコロモ		VU	○	○	○	
11						フシマツモ	ハナキキ	VU	CR+EN		○	
12												
13	不等毛植物	褐藻	カヤモリ	カヤモリ	カヤモリ		DD	○				
14			ケヤリモ	ケヤリモ	ウミホッス	CR+EN	CR+EN	○				
15			ヒハマタ	ホンタワラ	ヤハネモク	NT	NT	○	○	○		
16					コハモク	VU	VU	○	○	○		
17						CR+EN	○					
18	緑色植物	緑藻	シオクサ	ウキオリソウ	ホソバロニア	NT	NT	○	○	○		
19				ミドリケ	マカタマモ	マカタマモ	NT	NT	○		○	
20						クダネタシクサ		DD	○	○		
21			イワスタ	イワスタ	クヒレスダ		DD		○	○	○	
22					ヒナイワスタ		VU	VU	○	○	○	○
23					キサミスタ		VU	VU	○	○	○	○
24					イチイスタ		VU	VU	○	○	○	○
25							ハコロモ	コテンクノハウチリ	NT	NT		
26						ソリハサホテンクサ	NT	NT	○	○	○	
27						ヒロハサホテンクサ	NT	NT			○	
28						フササホテンクサ	NT	NT	○	○	○	
29						ニセハウチリ		DD	○	○	○	
30				ハネモ	ハネモ	ハネモトキ	DD	NT	○			
31			カサノリ	カサノリ	カサノリ	カサノリ	カサノリ	NT	NT		○	
32							ウスカサネ	VU	VU	○	○	○
33							ホソエカサ	CR+EN	CR+EN	○	○	○
34					カサノリ	カサノリ	NT	NT	○	○	○	
35	種子植物	単子葉植物	オモタカ	トチカカミ	リュウキウスガモ	NT		○	○	○		
36							ウミヒルモ	NT		○	○	○
37							オオウミヒルモ		EN	○		○
38				アマモ	アマモ		VU	○				
39				ベニアマモ		ニラウミシクサ	NT	NT	○	○	○	
40							マツバウミシクサ	NT	VU	○	○	○
41							ハニアマモ	NT		○	○	○
42							リュウキウアマモ	NT				○
出現種類数					42種	31種	37種	33種	33種	23種	29種	

表 3.2.161 重要な種一覧（海藻草類、令和3年度夏季）

No.	門	綱	目	科	種名	環境省RL 2018	沖縄県RDB 2017	令和3年度	
								夏季	冬季
1	不等毛植物	褐藻	ヒバ ^マ タ	ホン ^タ ワラ	ヤバ ^ネ モク	NT	NT		○
2		黄緑藻	フシナシ ^ト ロ	フシナシ ^ト ロ	ウミフシナシ ^ト ロ	VU	CR+EN		○
3	緑色植物	緑藻	ミ ^ト リゲ	マカ ^タ マモ	マカ ^タ マモ	NT	NT	○	
4			イ ^ス タ	ハコ ^ロ モ	フササ ^ホ テンク ^サ	NT	NT	○	○
5			カサ ^リ	タ ^シ クラズ ^ス	ウスカ ^サ サネ	VU	VU		○
6				カサ ^リ	ホリ ^エ カ ^サ	CR+EN	CR+EN		○
7				カサ ^リ	カサ ^リ	NT	NT		○
8	種子植物	単子葉植物	ト ^チ カ ^カ ミ	リュウ ^キ ウ ^ス カ ^モ	NT		○	○	
9				ウミ ^ヒ モ	NT		○	○	
10				オウ ^ミ ヒ ^モ		EN	○	○	
11				ヒメ ^ウ ミ ^ヒ モ		EN	○	○	
12				ハ ^ニ ア ^マ モ	ホリ ^ハ ウ ^ミ ジ ^グ サ		NT		○
13			マツ ^ハ ウ ^ミ ジ ^グ サ		NT	VU	○		
14			ハ ^ニ ア ^マ モ		NT		○	○	
15			リュウ ^キ ウ ^ア マ ^モ	NT		○			
出現種類数					15種	12種	11種	9種	11種

以下の①～②のいずれかに該当しているものを「重要な種」として選定した。

- ① 環境省 RL：「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和2年3月27日）に記載されている種及び亜種
- ・ CR+EN 「絶滅危惧 I 類」：絶滅の危機に瀕している種
 - ・ CR 「絶滅危惧 I A 類」：絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
 - ・ EN 「絶滅危惧 I B 類」：絶滅の危機に瀕している種のうち、A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
 - ・ VU 「絶滅危惧 II 類」：絶滅の危険が増大している種
 - ・ NT 「準絶滅危惧」：存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
 - ・ DD 「情報不足」：評価するだけの情報が不足している種
 - ・ LP 「地域個体群」：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群
- ② 沖縄県 RDB：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータおきなわ)－菌類編・植物編－」（平成30年、沖縄県）に記載されている種及び亜種
- ・ CR+EN 「絶滅危惧 I 類」：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
 - ・ CR 「絶滅危惧 I A 類」：沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
 - ・ EN 「絶滅危惧 I B 類」：沖縄県では A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
 - ・ VU 「絶滅危惧 II 類」：沖縄県では絶滅の危機が増大している種
 - ・ NT 「準絶滅危惧」：沖縄県では存続基盤が脆弱な種
 - ・ DD 「情報不足」：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
 - ・ LP 「絶滅のおそれのある地域個体群」：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの